

第31回 親と子のふれあい写生大会  
**入賞作品**

平成20年7月29日に第31回親と子のふれあい写生大会が開催されました。あいにくの雨模様でしたが、力作ぞろいの224件の作品を提出していただきました。以下のとおり入賞作品が決定し、8月24日に園内ミルヴェ館で表彰式が行われました。



**秋田市長賞**

「なぞのアオダイショウ」  
 須藤 創太 さん

**講評**

うるこのわずかな色のちがいを自分で感じ取った色で、カラフルに表しています。絵の具をはじくクレヨンの効果を上手に生かして、一枚ずついねいにかき分けたうろこの模様がヘビの感じをよく出しています。くねくねとした動きもよくつかんでいます。背景の草の動きや色もよく合っていて、主役のヘビを引き立てています。カラフルで楽しい作品になりました。



**秋田市議会議長賞**

「気高き狼」  
 椎名 朱莉 さん

**講評**

りんとしたふんい気、まっすぐに見つめる目は、気品と風格を感じさせます。人を寄せ付けないオーラさえでています。毛並みとその色の変化は、心をこめた表現方法で好感がもてます。



**秋田市教育長賞**

「ぶら下がりポリビアリスザル」  
 松田 千尋 さん

**講評**

「ポリビアリスザル」の表情がとてもいいですね。いたずらっ子のような顔で、こちらを見ている様子がよく表されています。サルのはさふさした毛並みも、毛の流れをよく観察して、いろいろな色で丁寧に書きましたね。背景もとってもがんばりました。

この他に、秋田市大森山動物園長賞が6名、秋田市造形教育研究会賞が2名、AKT秋田テレビ賞が5名、ぺんてる賞が6名、アニバ賞が3名、特別賞が5名、入選が25名、佳作が25名の方々が入賞されました。おめでとうございます。

※講評は共催の秋田市造形教育研究会の先生方によるものです。

イベントレポート  
**サマースクール**

恒例のサマースクールが8月2日と4日に開催されました。このイベントは、動物園の持つ役割のひとつである教育普及活動の一環として毎年開催しているものです。動物園で飼育されている様々な動物と接する機会を通じ、本や映像からでは得ることのできない生き物のおいや鳴き声を実際に体験し、生命の尊さや動物の生態等を理解してもらうとともに、環境教育についても関心をもってもらうことを目的としています。今年で34回目を迎え、大森山動物園でも長い歴史のあるイベントです。

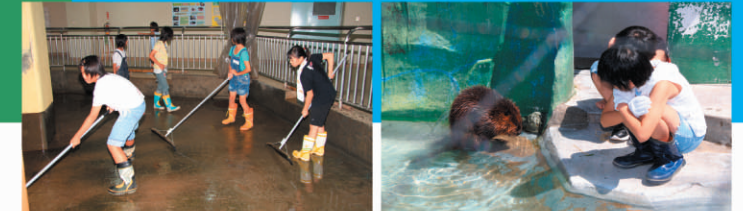


写真1 ソウ飼育体験

写真2 ビーバー飼育体験



写真3 ミルヴェ館で学習

写真4 トラ食事風景観察



写真5 ミニチュアホース食事観察

写真6 修了証書とクジャクの羽

事前に申込をいただいた、小学4年生から大人の方まで、2日間合わせて約50名の方にご参加いただきました。

まず始めは、開会式。スクール中に注意することの説明や、職員の自己紹介などを行いました。その後はグループに別れて、それぞれ担当になった動物たちの飼育作業を行いました。展示場等の清掃や給餌などを、飼育員の指示に従って行いました。写真1はソウの室内展示場の清掃の様子です。広い展示場をデッキブラシでこすり、汚れを落とす、力のいる作業です。写真2はビーバーの飼育作業の様子。間近でビーバーを観察中。動物の観察も大事な飼育員のお仕事です。

昼食をはさんだ午後は、最初に、動物の本物の頭の骨を見ながら、動物による歯のつくりやエサの違いをみんなで学習しました(写真3)。学習の後は、実際の動物達の食事風景を近くで見ながら、勉強したことを再確認。写真4はトラの食事の様子を間近で観察しているところです。普通はこんなに近くで見ることができません。こんな貴重な体験ができるのもサマースクールの醍醐味です。写真5はミニチュアホースの食事の様子を観察中。草食動物と肉食動物で

は食べるものが違うので、全く違う歯の作りをしています。机上で学習したことを、実際に目で見て、確かめる事で、より深い理解と感動があります。

全部の日程が終了し、最後は閉校式を行いました。参加者全員に修了証書と記念のクジャクの羽(写真6)が渡され、サマースクールは無事終了しました。

来年もまた開催の予定です。内容はその年によって変わる場合がありますが、毎年参加される方にお楽しみいただいています。ご興味のある方は、次回に是非、お申込みください。

**飼育日誌から (H20年4月～8月)**

飼育職員が日々記録している飼育日誌の一部を抜粋してご紹介します。

- 4月2日 ●コモンマーモセット仔 父母それぞれについている。夕方母授乳。ユキ♀も面倒みている。
- 4月7日 ●アムールトラ仔 体重測定 5.35kg、5.25kg 健康状態良好。
- 4月8日 ●アムールトラ 通路への扉をオープンに少し運動させる。仔もアシリと一緒に通路へ出てきた。
- 4月12日 ●イヌワシ第1ヒナ 本日より保育器から出し広めの囲いの中で育雛開始。体重990g。
- 4月13日 ●ムフロン(♀シオン) 1頭出産。
- 4月14日 ●ムフロン仔 体重測定 2.7kg、オスと確認。
- 4月16日 ●ペンギン 外G巣ペアの1卵目孵化。鳴き声姿共に確認。
- 4月24日 ●イヌワシ第1ヒナ 三歩くらいの起立歩行あり。
- 4月28日 ●クジャク♂3羽 ディスプレイ(羽を広げ求愛)さかん。

- 5月3日 ●リスザル てんかん個体に夕方投薬。
- 5月6日 ●ペンギン 外G巣ヒナ 親の半分くらいの大きさまで成長。
- 5月14日 ●ライオン(カズ) 朝に前日給餌の馬肉を嘔吐。元気もないため終日室内に。吹矢で投薬。
- 5月15日 ●チンパンジー(J太郎) 朝シャボテン公園へ無事出発。
- 5月17日 ●イヌワシ第1ヒナ 体重2840g 周囲に気が向き、エサに興味を示さない。
- 5月22日 ●トラ母子 屋外展示訓練。母アシリは数回外に出るが、仔2頭は通路で止まる。
- 5月28日 ●トラ母子 屋外展示訓練。仔は広範囲に活発に動く。
- 5月31日 ●ライオン(カズ) 残餌あり。朝の餌も食さない。午後の牛骨には少し反応していた。●イヌワシ第2ヒナ かなりの頻度で巣の外へ出ている。
- 6月3日 ●ライオン(カズ) 朝より横になったまま動かさず午後麻酔により治療。19:20死亡確認。

- 6月6日 ●ビーバー(モリコ♀) 15:00頃2頭出産。
- 6月7日 ●イヌワシ(第2ヒナ) 5:40に巣立ちする。
- 6月12日 ●フビチ(父♀) 5/28に一部折れた右角の治療を行う。
- 6月14日 ●ゾウ(花子♀) 放飼前の地震で朝の調教中少し落ち着かず。日中は落ち着いていた。
- 6月15日 ●トラ(母子) 元気に展示場内を走り回る。アルル(仔)牛骨をなめる。
- 6月18日 ●ペンギン(外G巣ヒナ) プールで初めて泳ぐ。上手に泳いでいる。
- 6月23日 ●ホンドフクロウ(フクジロウ) 換羽により尾羽すべて抜け落ちる。
- 6月24日 ●シフゾウ(マリイ♀) 多摩動物公園へ、(アオイ♀)安佐動物公園へ搬出。
- 6月25日 ●プレーリードック舎 はらぺこハウス設置。
- 6月30日 ●ウサギ(アーリー♀) 歯の矯正を行う。
- 7月1日 ●コンゴウインコ 各個体体重測定。
- 7月5日 ●ビーバー母子 3頭ともプールに出ている。

- 7月6日 ●カナダヤマアラシ 暑いので朝から氷のペットボトルと天井シャワーを使用。
- 7月12日 ●ビーバー 子供の1頭が白菜の柔らかい部分を食べる。
- 7月17日 ●シロフクロウ・ワシミズク舎の砂の入れ替え作業。
- 7月19日 ●マーコール(ヤワラ♀) 2頭出産。両方オス。
- 7月24日 ●マーコール(ヤワラの仔) 元気あり。展示場に便を数力所確認。
- 8月5日 ●トナカイ 暑さのため小屋の中から出てこようとしない。食欲はあり。
- 8月12日 ●ビルマニシキヘビ 脱皮あり。
- 8月14日 ●チンパンジー舎 室内展示場に遊具を設置。
- 8月15日 ●ユキヒョウ 夜の開園時の夜間動きがよい。
- 8月22日 ●ムツアシガメ 午後50分ほど外で日光浴させる。
- 8月27日 ●タンチョウ(シゲタ♀、ミッチー♀) お見合いをしていたが同居させる。攻撃する気配はなし。
- 8月28日 ●トラ(仔) 遊具として展示場に置いたパイで活発に行動。母アシリも利用。